

令和4年2月25日

## 林業成長産業化に向けた 新しい森林・林業・木材産業について

### プロローグ

- ・ 林野庁の一般会計予算は、実質経済成長率の動向に関係している
- ・ 低経済成長の時代、人工減少・高齢化社会の中では、一般会計予算が大きく増加することは考えにくい
- ・ 我が国の林業は補助金でできている
- ・ 補助金が減少すれば、森林整備、国産材の供給、林業の担い手確保は難しくなる
- ・ 持続可能な林業を構築していくことが、豊かな森林の形成、国産材資源の安定供給、活力ある山村地域のために不可欠
- ・ 自立した補助金に頼らない林業の確立が急務

### 1 森林・林業の「いま」

- ・ 資源状況を見れば、20年後、30年後の国産材の安定供給に暗雲
- ・ 間伐の繰り返し → 大径材化はバラ色か？
- ・ 主伐期に達した間伐は、資産が目減りした、更新コストが掛かり増し
- ・ 何よりも「次」の世代の資源を造成していない
- ・ 今の資源状況を見れば、「少子高齢化、メタボ化が進行」

### 2 「いま」を踏まえた課題

#### 2-① 持続可能な資源の造成

- ・ 持続的な林業経営が可能とするポテンシャルを持った林地を選択（林地の仕分）し、主伐再造林を一刻も早く推進
- ・ 供給力が底になる時期を短くするために、短伐期施業（30年程度）を推進
- ・ なぜ「林地の仕分」が必要か？
- ・ 製造業の視点で林業を考える
  - 土地利用の見直し、森林のポテンシャルなどを踏まえた施業

## 2-② 森林所有者のモチベーションの向上

- ・ 林業の採算性を改善し、儲かる林業実現には
  - ① 林業経営コストの改善
  - ② 立木価格の向上

## 3 取り組み方向

### 3-① 経営コストの低減

- ・ 地拵え・下刈りの見直しによるコストの低減
- ・ 造林作業の省力化の必要性
- ・ 必要な作業をやらないということではない、必要のない作業はやめよう

### 3-② 林業利回りの向上

- ・ 伐期の短縮 → スギ、カラマツは早生樹
- ・ 年輪幅とヤングは相関しない

### 3-③ 林業労働者の収入の向上

- ・ 一人当たりの生産性の向上
- ・ 伐採と造林の一体作業（林業版セル生産方式）

### 3-④ 国産材の需要拡大の方向

- ・ 山が喜ぶ木材の使い方
- ・ 無垢材の需要拡大、特に平角
- ・ 国産材をどこにどのように使って需要拡大するか
- ・ ストック活用社会

## 4 未来の森林・林業・木材産業のために